

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道58号 恩納バイパス <small>おきなわ おんな あざせらがき</small>		事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局
起終点	自：沖縄県恩納村字瀬良垣 <small>おきなわ おんな あざせらがき</small> 至：沖縄県恩納村字南恩納 <small>おきなわ おんな あざみなみおんな</small>			延長	5.1km	
事業概要 国道58号は、沖縄本島西側を南北に走る大動脈で、本島中南部の人口集中地域と北部の観光・リゾート地域及び農山村地域を結ぶ主要幹線道路である。恩納バイパスは、美しい海岸線が続き、リゾートホテルやビーチなどが集中している本県有数のリゾート地である恩納村内の夏場の観光シーズンにおける交通渋滞の緩和、沖縄自動車道へのアクセス向上による沿道環境の改善、観光産業の支援に大きく寄与する道路である。						
H元年度事業化		H一年度都市計画決定		H7年度用地着手		H9年度工事着手
全体事業費		約330億円		事業進捗率		76%
計画交通量		25,000台/日		供用済延長		5.1km（暫定）
費用対効果 分析結果	B/C <small>(事業全体)</small> 3.1		総費用 <small>(残事業)/ (事業全体)</small> 91/414億円		総便益 <small>(残事業)/ (事業全体)</small> 623/1302億円	
	<small>(残事業)</small> 6.9		事業費：65/379億円 維持管理費：26/35億円		走行時間短縮便益：586/1233億円 走行経費減少便益：31/61億円 交通事故減少便益：6.7/8.5億円	
感度分析の結果 <small>(事業全体)</small> 交通量：B/C=2.5~3.5（交通量±10%） <small>(残事業)</small> 交通量：B/C=6.2~7.6（交通量±10%） 事業費：B/C=3.1~3.2（事業費±10%） 事業費：B/C=6.4~7.4（事業費±10%） 事業期間：B/C=3.0~3.3（事業期間±20%） 事業期間：B/C=6.5~7.2（事業期間±20%）						
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・損失時間の削減が見込まれる。 ・現道の路線バスの利便性向上が期待される。 ②物流効率化の支援 ・重要港湾（那覇港、運天港）へのアクセス向上が見込まれる。 ③国土・地域ネットワークの構築 ・北部地域の中心都市（名護市）へのアクセスが向上する。 ④個性ある地域の形成 ・恩納村内のリゾートホテルや各種観光施設間へのアクセスが向上。 ⑤地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑥生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。						
関係する地方公共団体等の意見 【沖縄県知事】 恩納バイパスは、ハシゴ道路ネットワークを形成する主要な幹線道路であり、県内屈指のリゾート地域における渋滞緩和や観光振興等に大きく寄与する重要な幹線道路と認識している。 平成23年4月の全線暫定供用により、現道区間の交通量減少等の整備効果が発現されているものの、当該バイパスの交通量が、既に暫定2車線の交通容量を超過していることなどから、早期の全線完成供用が必要である。 このため、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意する。						

